

神崎川水質汚濁対策連絡協議会猪名川分科会（事務局：猪名川河川事務所）は、猪名川の環境に触れて親しんでいただくことを目的として、地域の方々とヒメボタル幼虫調査・観察会を行いました。平成29年度から開催し、今回で5回目。昨年度は残念ながら捕獲0匹でしたが、今年度はトラップ設置期間の気温が高く、また降雨で適度な湿潤状態になり幼虫の捕食活動が活発になったためか、180個トラップを仕掛け22匹の幼虫を捕獲することができました。



日時：令和3年11月27日（土）13:30～14:30 トラップ設置
 令和3年12月4日（土）10:30～11:30 トラップ回収
 場所：猪名川河川敷（兵庫県尼崎市）
 参加者：14名（設置）、23名（回収）
 主催：神崎川水質汚濁対策連絡協議会猪名川分科会
 協力：池田・人と自然の会、猪名川ヒメボタルの会、猪名川流域ひめぼたるネットワーク、自然と文化の森協会、流域ネット猪名川、大阪府立利根山高等学校生物工コ部

<ヒメボタルってどんな生き物？>

- ヒメボタルは、森林等に生息する陸生のホタルで、東北から九州まで本州全域に分布している。
- 5月頃に産卵、6月頃に孵化し、1～3年程度を幼虫として主に陸産貝類を捕食して成長、十分に成長した年の4月頃にサナギとなり、5月頃に羽化して成虫となる。成虫は一週間程度生存し、交尾・産卵を行い、死亡する。
- オスは飛んで移動するが、メスは飛べないため移動能力に乏しく、生息範囲の広がりにくさにつながっている。ゲンジボタルと比べると体の大きさは半分くらいだが、光は強く、短い間隔でフラッシュのように輝く。



成虫



幼虫



設置したトラップ



トラップ作成（プラスチック円筒容器にエサのつぶしたタニシをセット）



猪名川

調査地点



トラップ回収

通常は環境の安定した森林内に生息するヒメボタルが、洪水の影響など環境変化の大きい河川敷内に群生するのはめずらしい。

<アンケート結果>

- ・初めてヒメボタルの幼虫が見られて良かった。
- ・木を伐採したからか、昨年は幼虫がとれなくて心配したが、今年たくさんとれて良かった。
- ・自分で設置したトラップを回収できたことが良かった。
- ・子供が飽きないように物作り体験が出来ることが良かった。

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 工務課
 〒563-0027 大阪府池田市上池田2-2-39 TEL 072-751-1111 (代)

